

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2002-529408(P2002-529408A)

【公表日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2000-580616(P2000-580616)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/22	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/22	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月8日(2006.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】アポトーシス誘導により治療上の利益が得られる病気の治療のための、プロピオニルL-カルニチンまたは医薬上許容されるその塩を含む医薬組成物。

【請求項2】高血圧症の治療のための請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】肺高血圧症の治療のための請求項1記載の医薬組成物。

【請求項4】血管形成または冠動脈ステント術後の再狭窄の予防のための請求項1記載の医薬組成物。

【請求項5】腫瘍の治療のための請求項1記載の医薬組成物。

【請求項6】プロピオニルL-カルニチンの塩が、クロライド、プロマイド、オロテート、酸アスパルテート、酸シトарат、酸ホスフェート、フマレートおよび酸フマレート、ラクテート、マレエートおよび酸マレエート、酸オキサレート、酸スルフェート、グルコースホスフェート、タートレートおよび酸タートレートから成る群から選択される請求項1～5のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項7】抗癌剤およびプロピオニルL-カルニチンを含む、組み合わせ、ただし、該抗癌剤はドキソルビシンではない。

【請求項8】抗癌活性に関して補助作用を示す有効量のプロピオニルL-カルニチンを含む、請求項7記載の組み合わせを含む抗癌活性を有する医薬組成物。

【請求項9】プロピオニルL-カルニチンまたは薬理学上許容されるその塩の一つおよび抗癌剤を個別の投与形態として有するパッケージまたは製品であって、活性成分の協調的同時摂取または定期摂取に関する使用説明書を有するパッケージまたは製品、ただし、該抗癌剤はドキソルビシンではない。